

＜巻末資料 目 次＞

巻末資料－１：液状化を生じた各地区の埋立履歴

- 1－1 竹内工業団地
- 1－2 昭和町工業団地
- 1－3 富益団地
- 1－4 崎津団地
- 1－5 安倍彦名団地
- 1－6 弓浜干拓地
- 1－7 彦名干拓地
- 1－8 米子港

巻末資料－２：竹内工業団地の液状化判定結果

- 2－1 液状化判定した調査ボーリング位置
- 2－2 液状化判定結果（B-12-1～B-12-14 地点）

＜巻末資料－１＞：液状化を生じた各地区の埋立履歴

- 1－1 竹内工業団地
- 1－2 昭和町工業団地
- 1－3 富益団地
- 1－4 崎津団地
- 1－5 安倍彦名団地
- 1－6 弓浜干拓地
- 1－7 彦名干拓地
- 1－8 米子港

1. 液状化を生じた各地区の埋立履歴

本章では、平成 12 年鳥取西部地震に伴う液状化により被害の発生した 5 団地、2 干拓地および米子港について、旧地形図および過去の空中写真より判読した埋立履歴等をまとめた。旧地形図・過去の空中写真より判読した埋立履歴を以下に示す。

1-1. 竹内工業団地

竹内工業団地は、JR 境線の境港駅の東南方約 3.0km で国道 431 号沿いに位置しており、約 1.0km 四方の総面積約 128ha の埋め立て地である。

1) 造成履歴

竹内工業団地は、昭和 54 年～昭和 59 年頃に埋め立てられて昭和 61 年頃から用地の売却を行っており、埋め立ては航路や泊地の浚渫土砂及び埋め立て地前面の海底から採取した土砂をポンプ船で吹き込んで造成している。

2) 旧地形図

竹内工業団地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ①. 大正 7 年
- ②. 昭和 50 年
- ③. 昭和 59 年
- ④. 平成 3 年
- ⑤. 平成 11 年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図 1-1. 1 である。

3) 過去の空中写真

竹内工業団地において入手した空中写真を以下に示す。

- ①. 昭和 42 年
- ②. 昭和 48 年
- ③. 昭和 50 年
- ④. 昭和 51 年（写真なし）
- ⑤. 昭和 59 年
- ⑥. 昭和 62 年
- ⑦. 平成 12 年 10 月 7 日地震直後

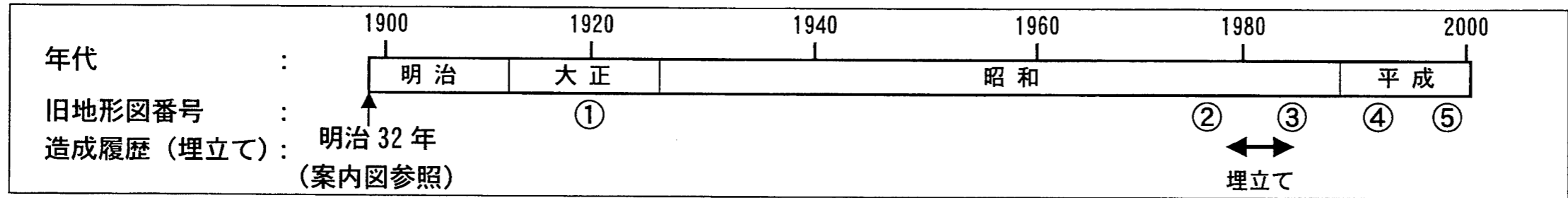
以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図 1-1. 2 である。

4) 埋立の時期・経緯

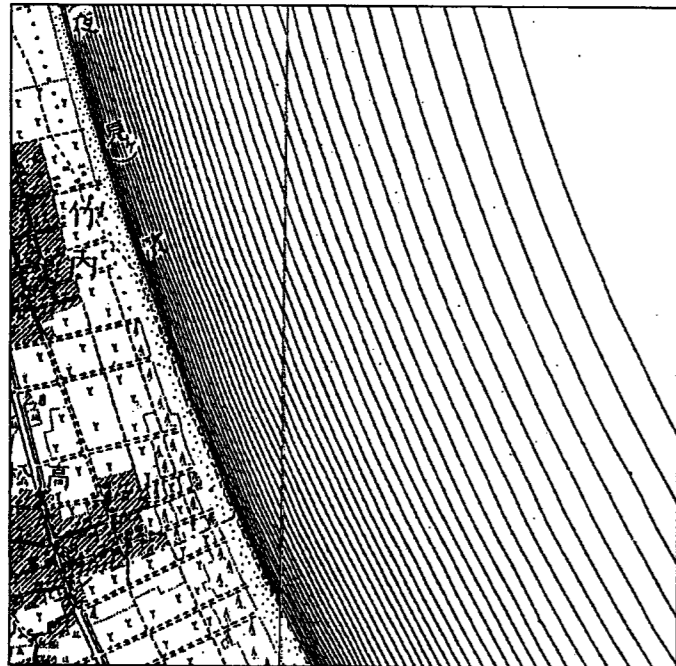
埋立工事は昭和 54 年 1 月より開始し、昭和 59 年 2 月にほぼ浚渫は終了して昭和 61 年に埋立事業を竣工している。図 1-1. 3 には竹内工業団地における埋立工事経過図を示した。

埋立工事は第 1 期～第 7 期に区分されている。

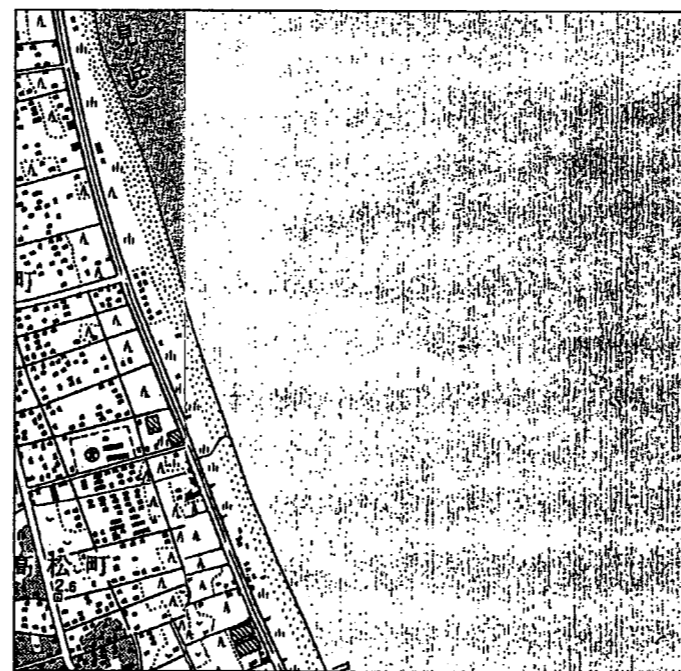
竹内工業団地



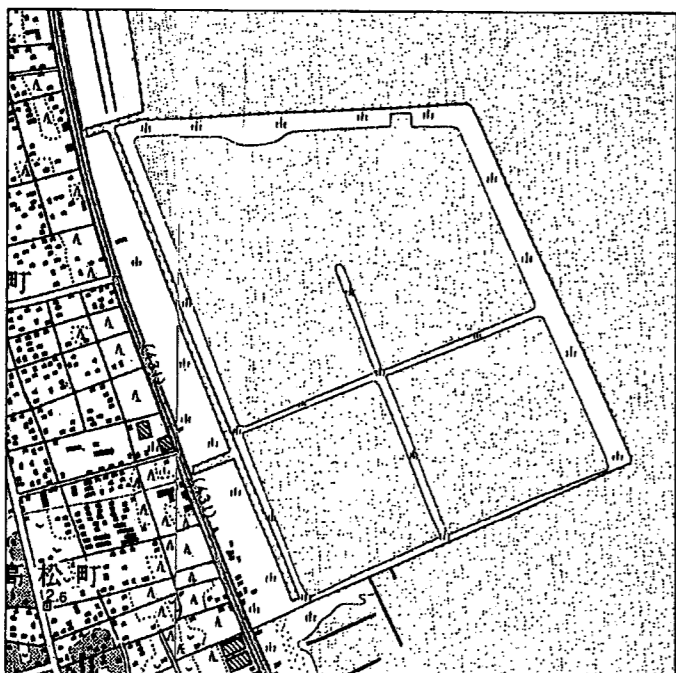
①大正 7 年



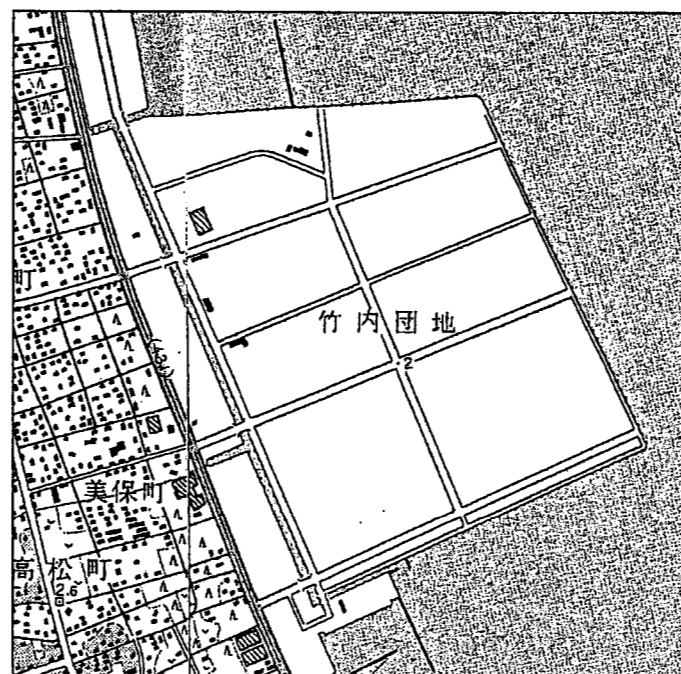
②昭和 50 年



③昭和 59 年



④平成 3 年



⑤平成 11 年

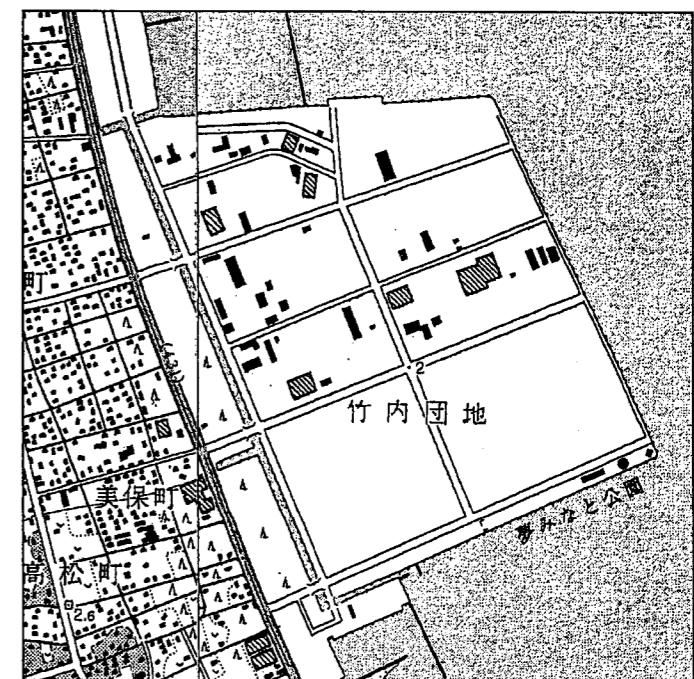
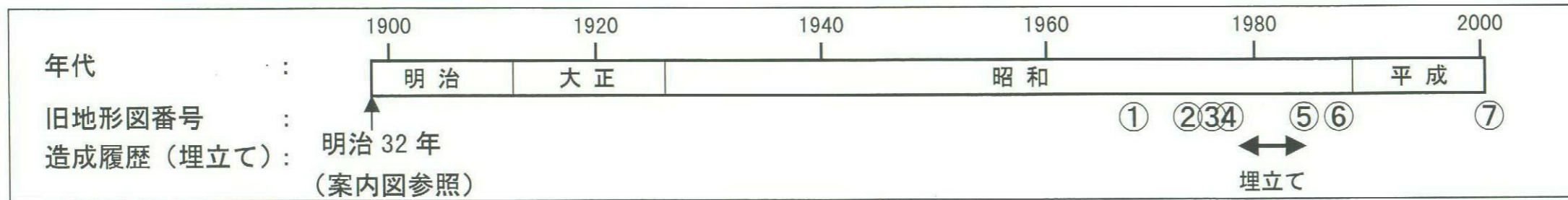
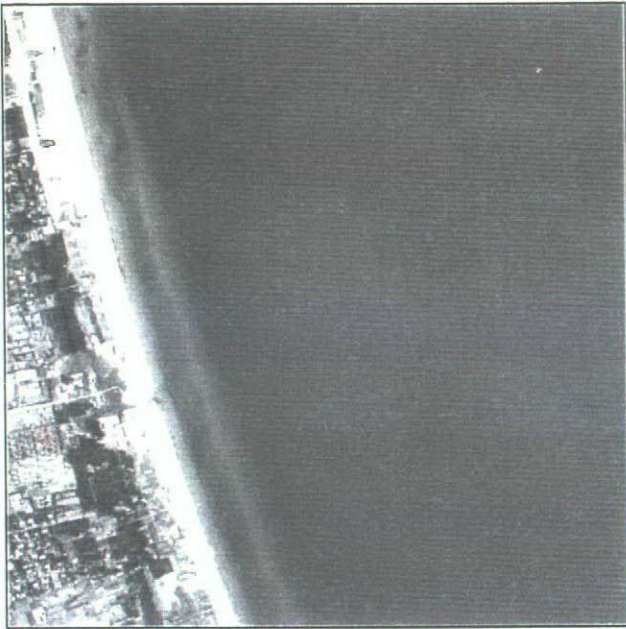


図 1-1. 1 地形図による変遷 (竹内工業団地)



竹内工業団地

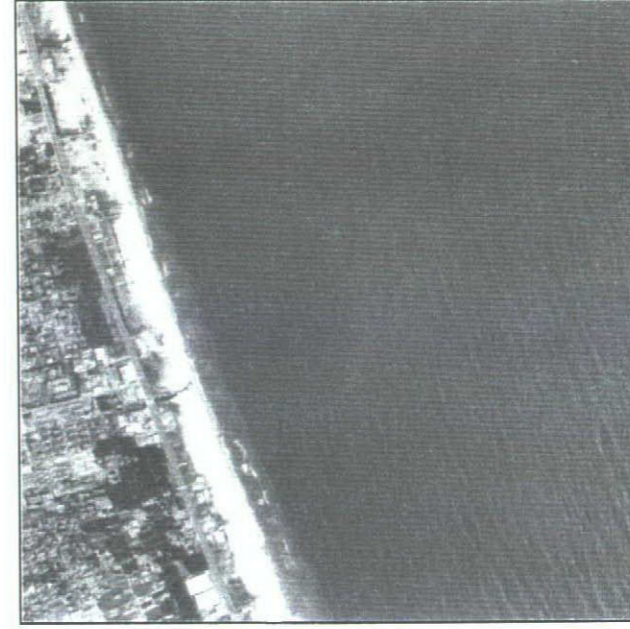
①昭和 42 年



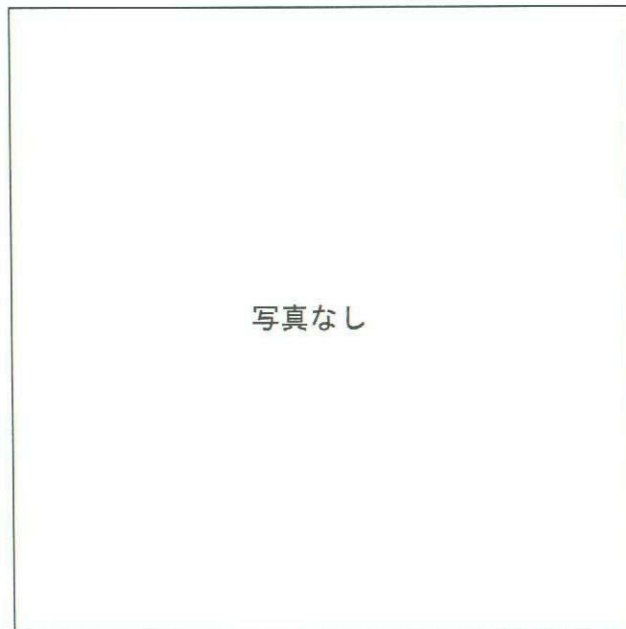
②昭和 48 年



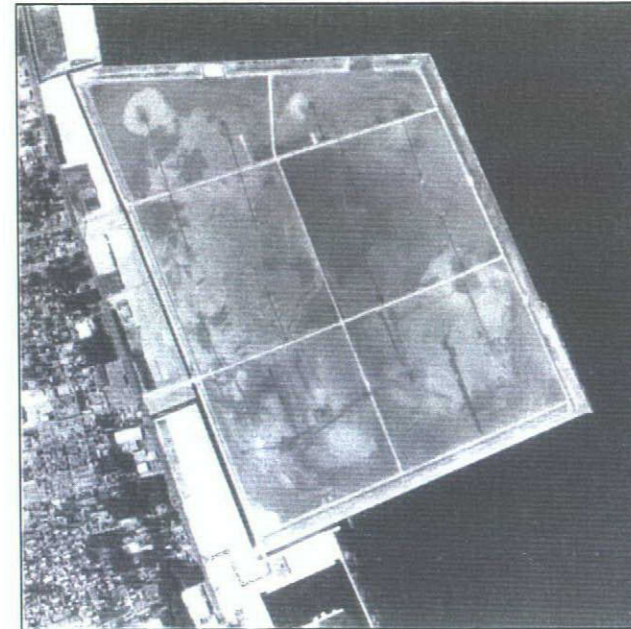
③昭和 50 年



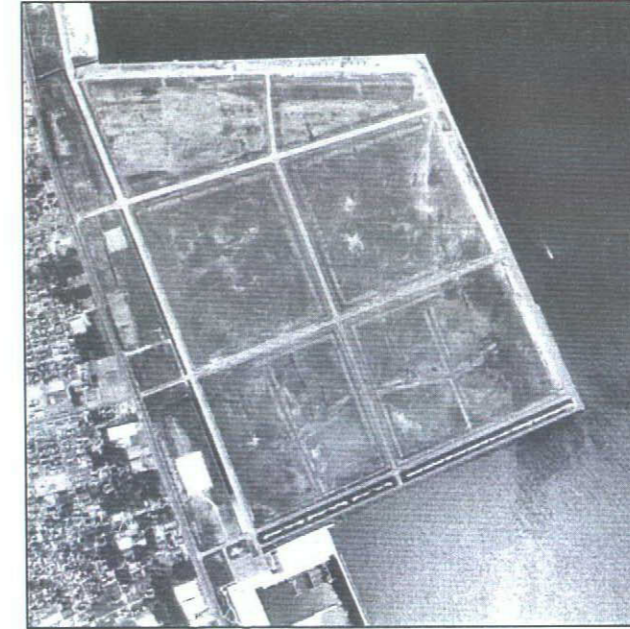
④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後



図 1 - 1. 2 空中写真による変遷 (竹内工業団地)

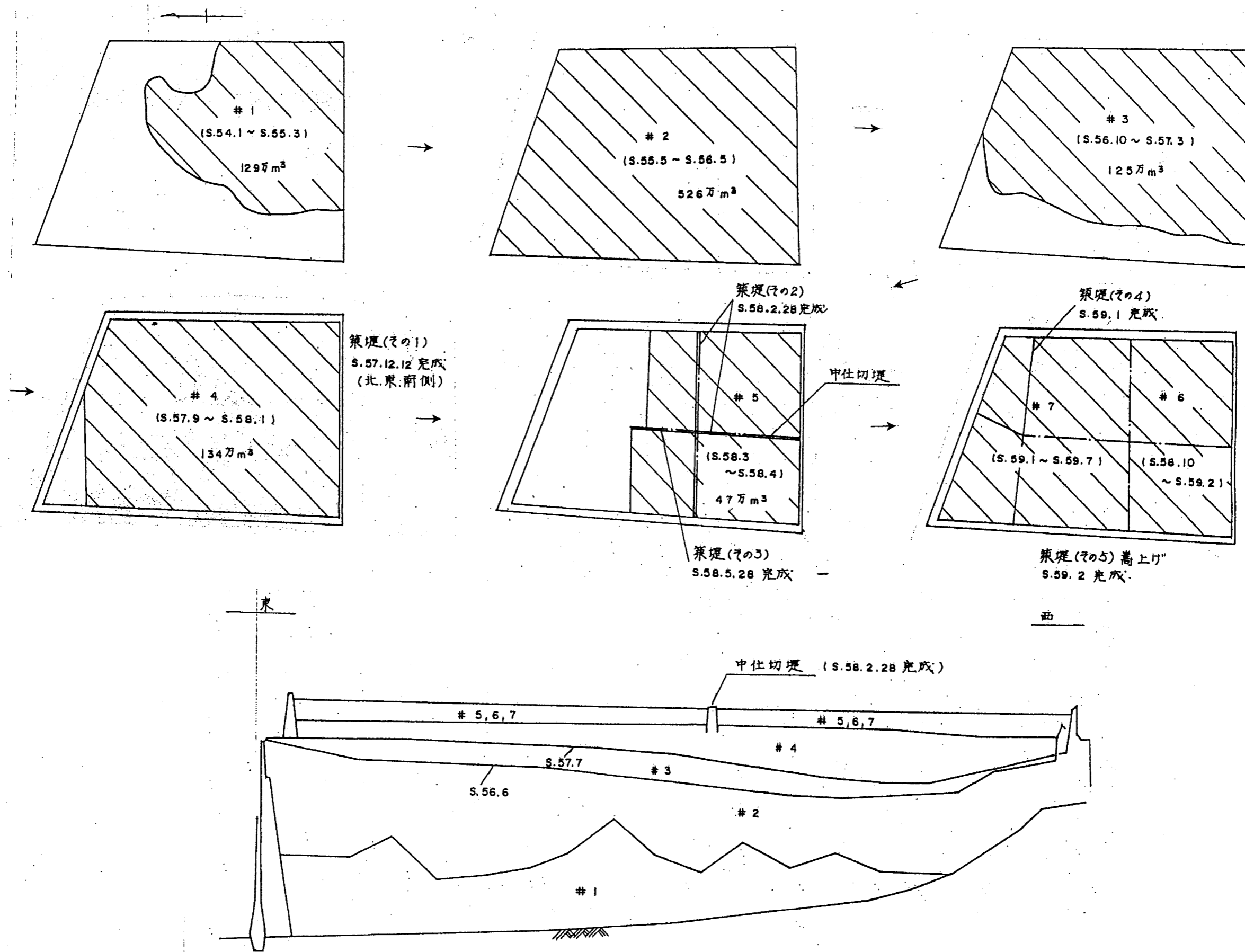


図1-1.3 埋立て工事経過図 (竹内工業団地)

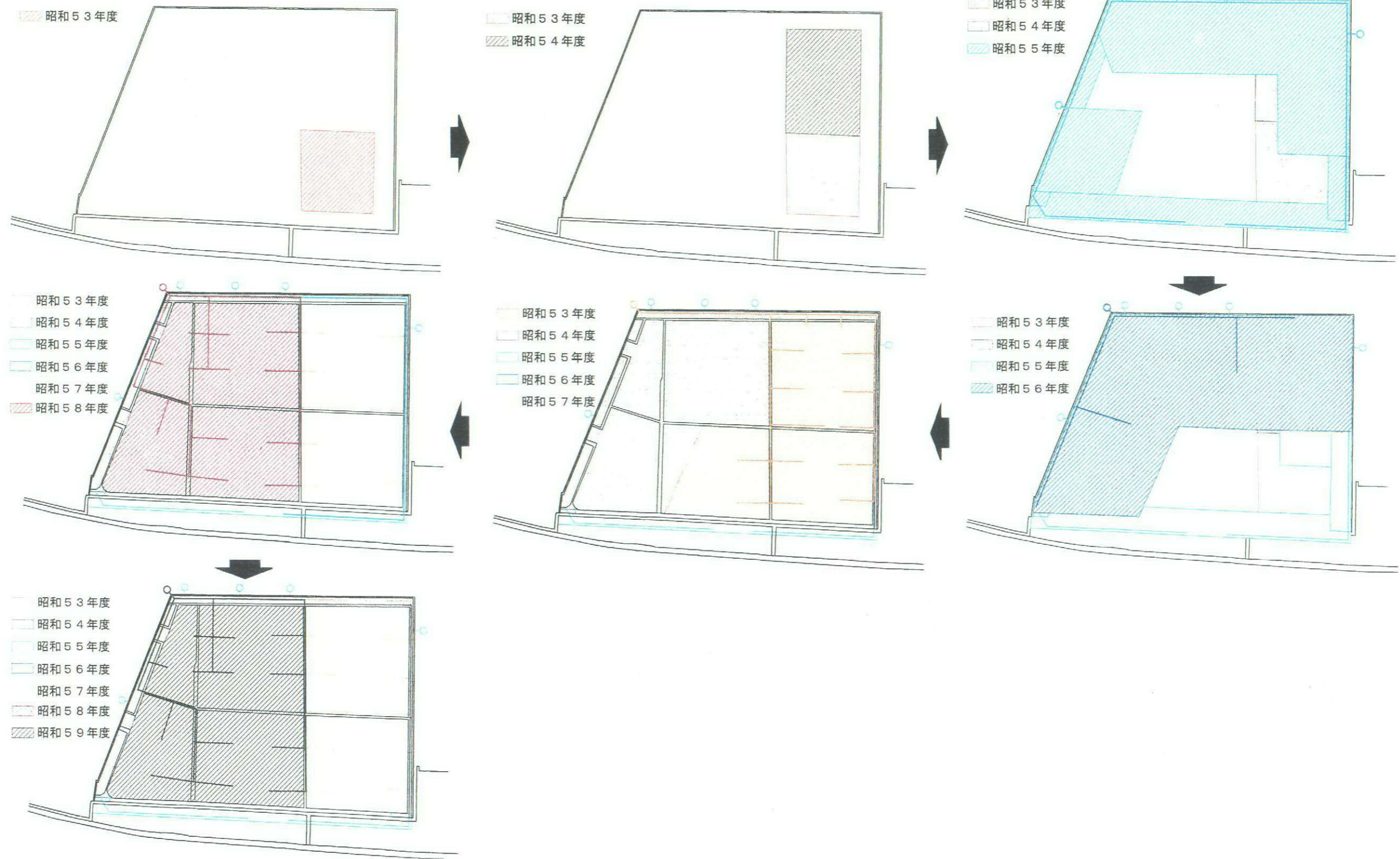


図1-1.4 埋立て工事経過図(竹内団地)

1-2. 昭和町工業団地

昭和町工業団地は、JR境線の境港駅の東方約3.0kmで国道431号と境水道大橋及び境水道沿いに位置しており、東西方向約2.2kmで南北方向約0.7kmの総面積約170haの埋め立て地である。

1) 造成履歴

昭和町工業団地は、昭和40年代頃に埋め立てられて昭和50年代頃から用地の売却を行っており、埋め立ては航路や泊地の浚渫土砂及び埋め立て地前面の海底から採取した土砂をポンプ船で吹き込んで造成している。

2) 旧地形図

昭和町工業団地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正7年
- ② 昭和50年
- ③ 昭和59年
- ④ 平成3年
- ⑤ 平成11年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図1-2.1である。

3) 過去の空中写真

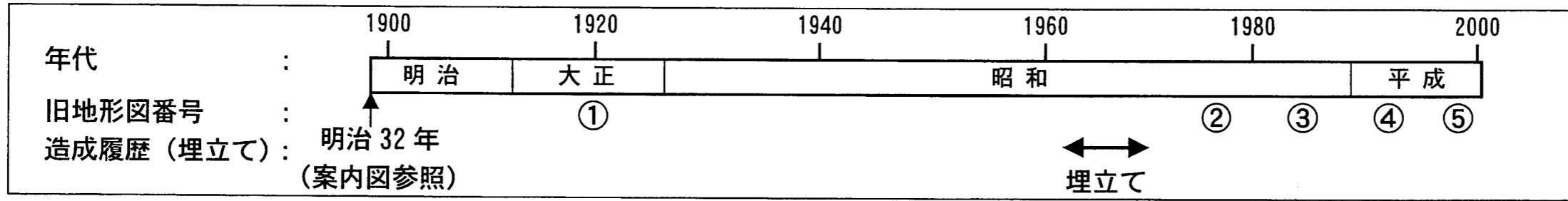
昭和町工業団地において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和42年
- ② 昭和48年
- ③ 昭和50年
- ④ 昭和51年
- ⑤ 昭和59年
- ⑥ 昭和62年
- ⑦ 平成7年10月7日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図1-2.2である。

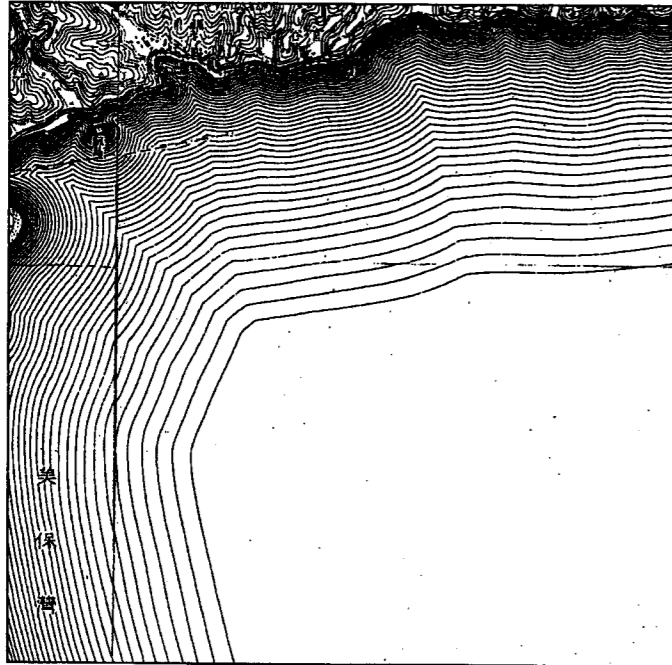
4) 埋立の時期・経緯

埋立履歴を調査した結果、昭和38年度～昭和46年度に埋め立てられている。空中写真で見ると昭和42年の写真では埋め立て工事中であり、昭和50年頃から団地の西側から売却されていることがわかる。昭和42年の空中写真を見ると2区画程度に分けられて埋め立てられている。

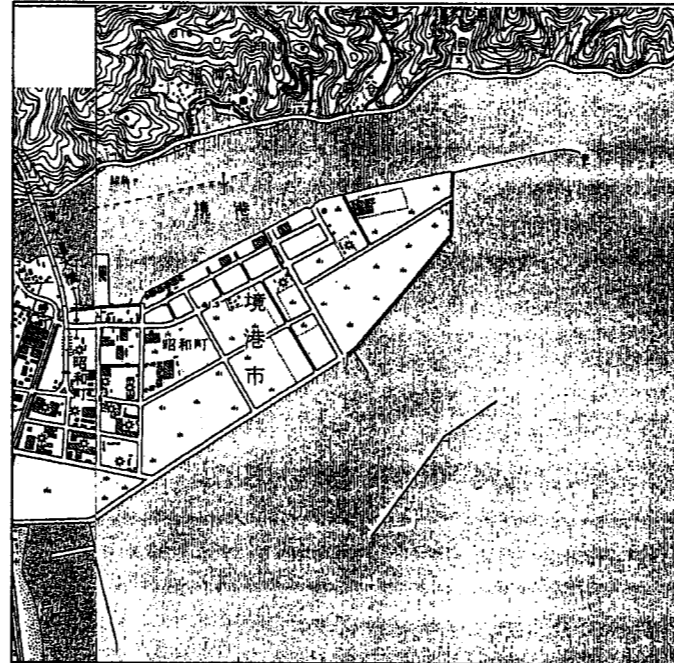


昭和町工業団地

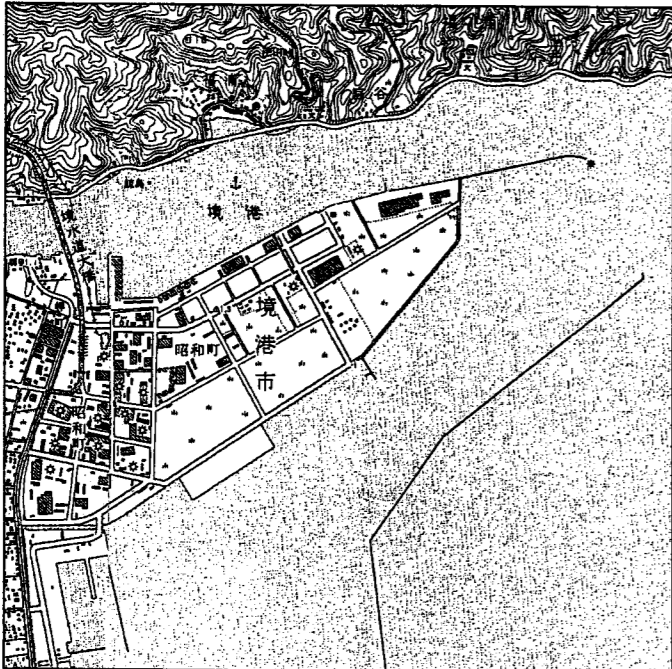
①大正 7 年



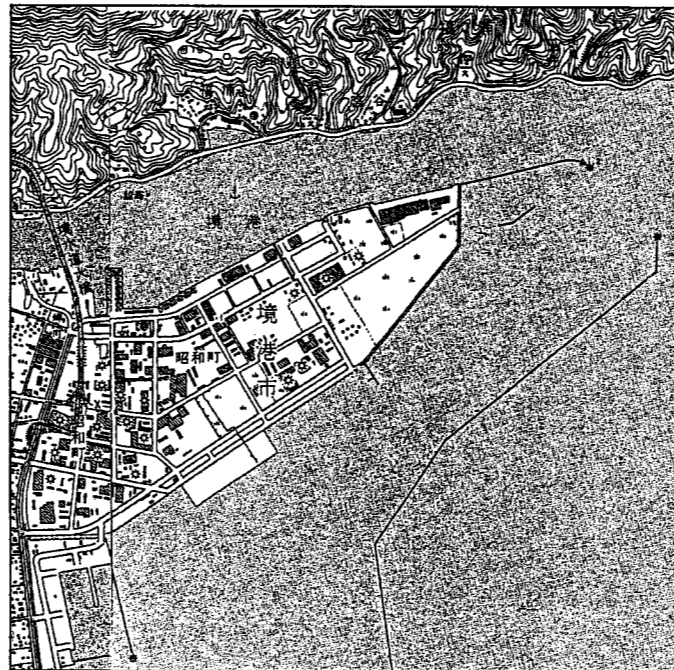
②昭和 50 年



③昭和 59 年



④平成 3 年



⑤平成 11 年

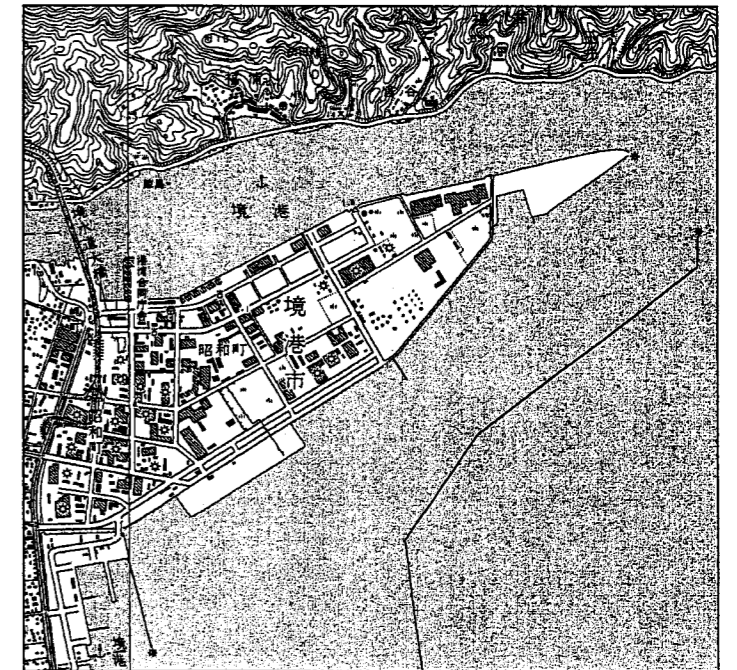
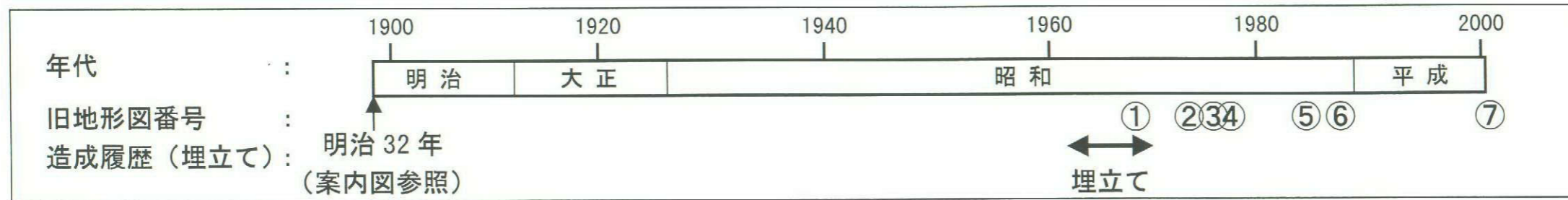


図 1-2. 1 地形図による変遷 (昭和町工業団地)

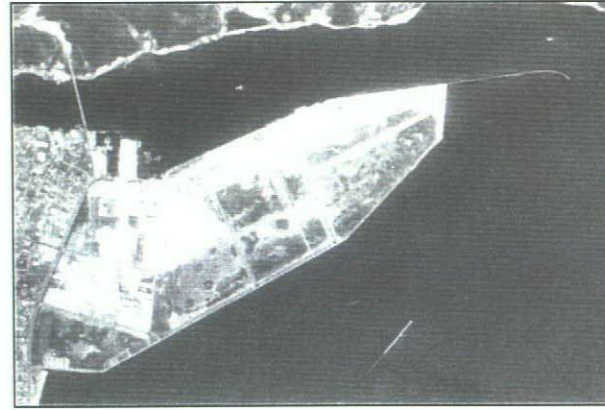


昭和町工業団地

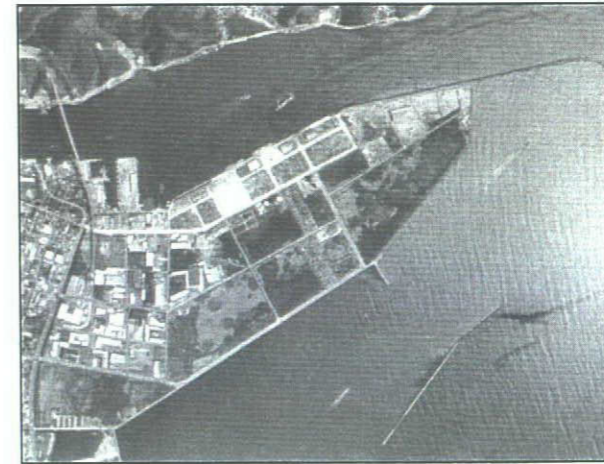
①昭和42年



②昭和48年



③昭和50年



④昭和51年



⑤昭和59年



⑥昭和62年



⑦平成7年10月7日 地震直後



図1-2. 2 空中写真による変遷（昭和町工業団地）

1-3. 富益団地

富益団地は、JR 境線の弓ヶ浜駅の西方約 1.3km で主要地方道米子・境港線と米川の間位置しており、東西方向約 460m で南北方向約 240m の総面積約 12ha の埋め立て地である。

1) 造成履歴

富益団地は、昭和 50 年代前半頃に埋め立てられて昭和 50 年代後半頃から用地の売却を行っており、埋め立ては盛土材をダンプトラック等で搬入して造成している。

2) 旧地形図

富益団地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正 7 年
- ② 昭和 52 年
- ③ 昭和 59 年
- ④ 平成 2 年
- ⑤ 平成 10 年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図 1-3. 1 である。

3) 過去の空中写真

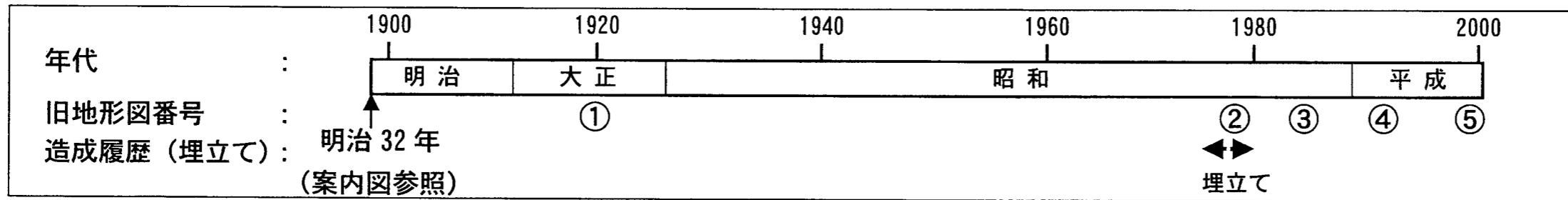
富益団地において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和 42 年
- ② 昭和 48 年
- ③ 昭和 50 年
- ④ 昭和 51 年
- ⑤ 昭和 59 年
- ⑥ 昭和 62 年
- ⑦ 平成 12 年 10 月 7 日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図 1-3. 2 である。

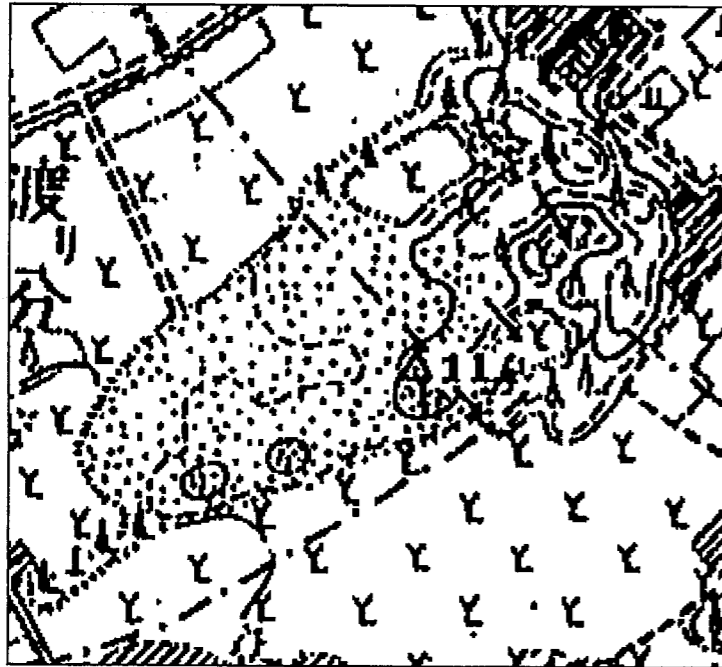
4) 埋立の時期・経緯

空中写真を見ると昭和 42 年では、荒地と林となっており、昭和 48 年頃から盛土されてきていることがわかる。

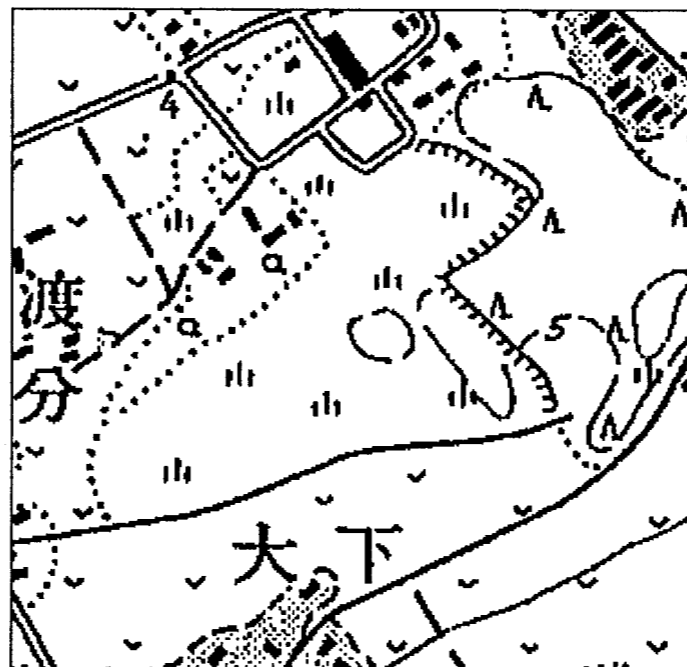


富益団地

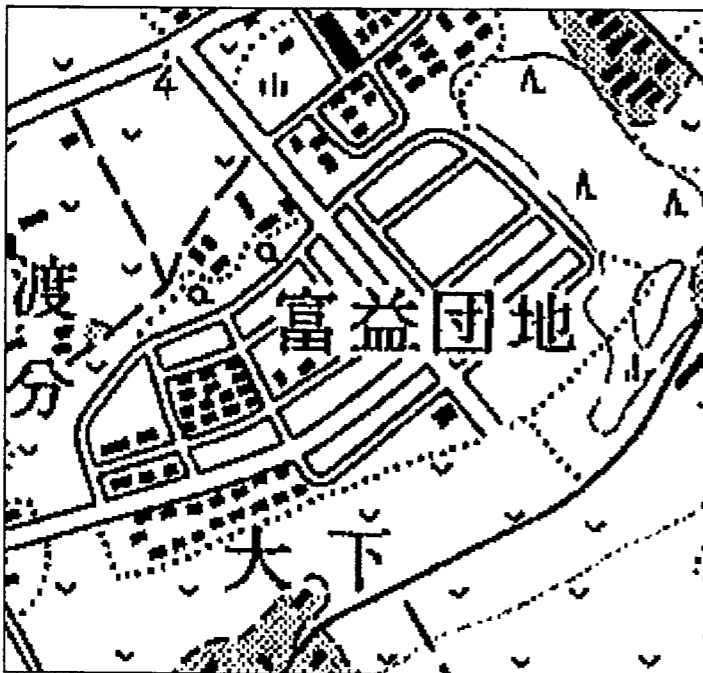
①大正 7 年



②昭和 52 年



③昭和 59 年



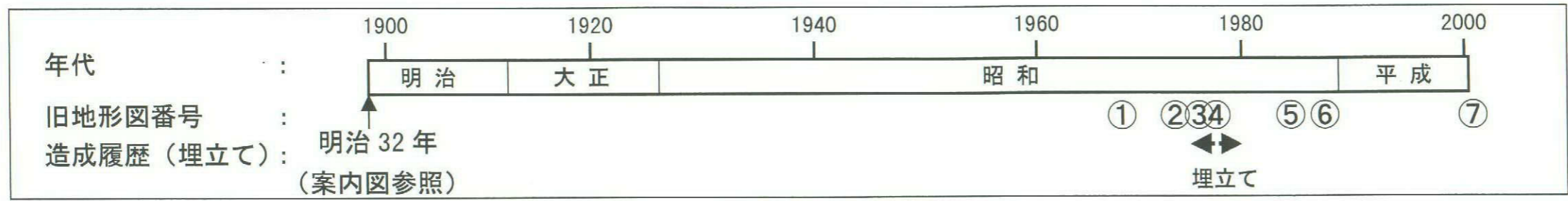
④平成 2 年



⑤平成 10 年



図 1-3. 1 地形図による変遷 (富益団地)



富益団地

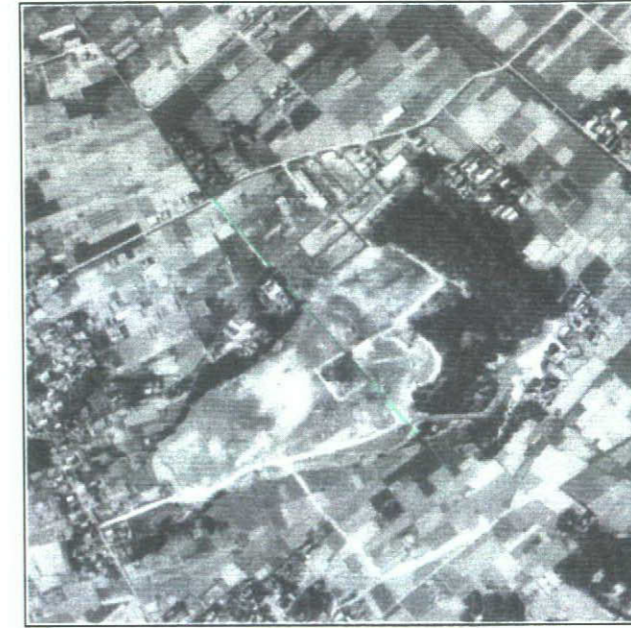
①昭和 42 年



②昭和 48 年



③昭和 50 年



④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後



図 1-3. 2 空中写真による変遷 (富益団地)

1-4. 崎津団地

崎津団地は、JR 境線の弓ヶ浜駅の西南西西方約 1.9km で主要地方道米子・境港線と中海の間に位置しており、全長約 600m で幅約 250m の総面積約 15ha の埋め立て地である。

1) 造成履歴

崎津団地は、平成 12 年までに埋め立てられて平成 13 年頃から用地の売却を行う予定であり、埋め立ては航路や泊地の浚渫土砂及び埋め立て地前面の海底から採取した土砂をポンプ船で吹き込んで造成している。

2) 旧地形図

崎津団地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正 7 年
- ② 昭和 52 年
- ③ 昭和 59 年
- ④ 平成 2 年
- ⑤ 平成 10 年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図 1-4. 1 である。

3) 過去の空中写真

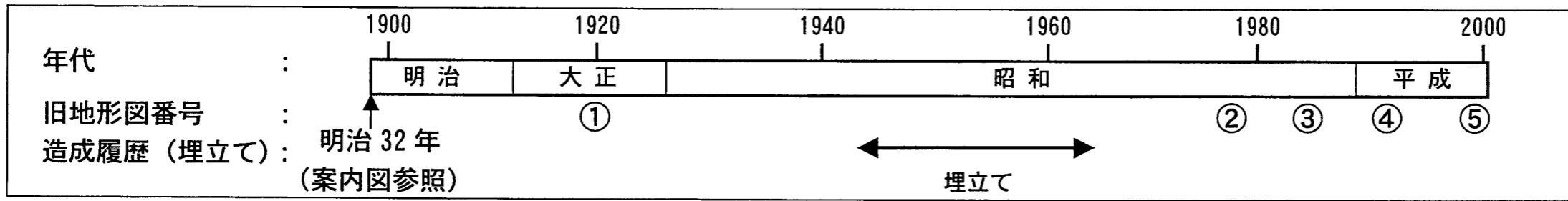
崎津団地において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和 42 年
- ② 昭和 48 年
- ③ 昭和 50 年
- ④ 昭和 51 年
- ⑤ 昭和 59 年
- ⑥ 昭和 62 年
- ⑦ 平成 12 年 10 月 7 日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図 1-4. 2 である。

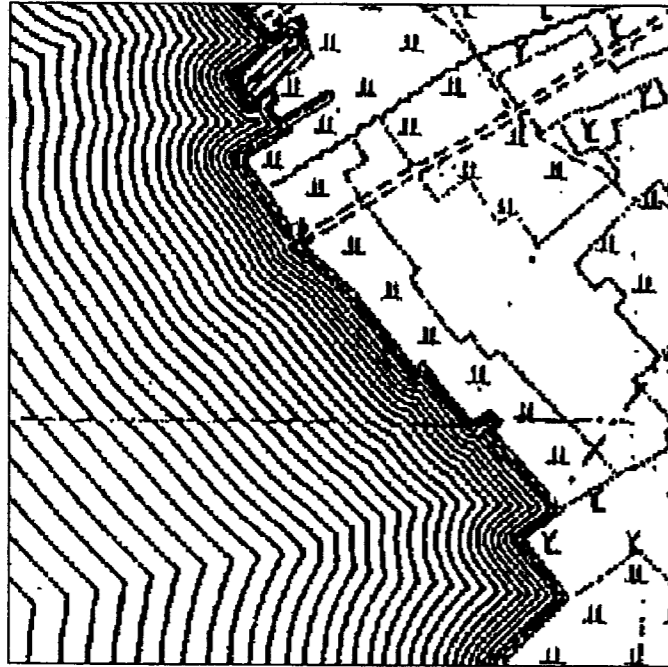
4) 埋立の時期・経緯

崎津団地は昭和 20 年～昭和 40 年にかけて農地増反政策により干拓された。その後、平成 13 年頃から用地の売却を行う予定である。

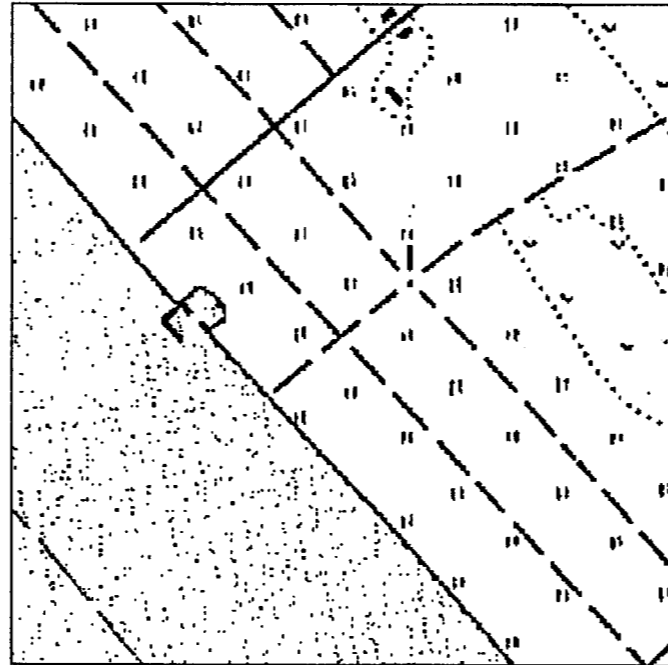


崎津団地

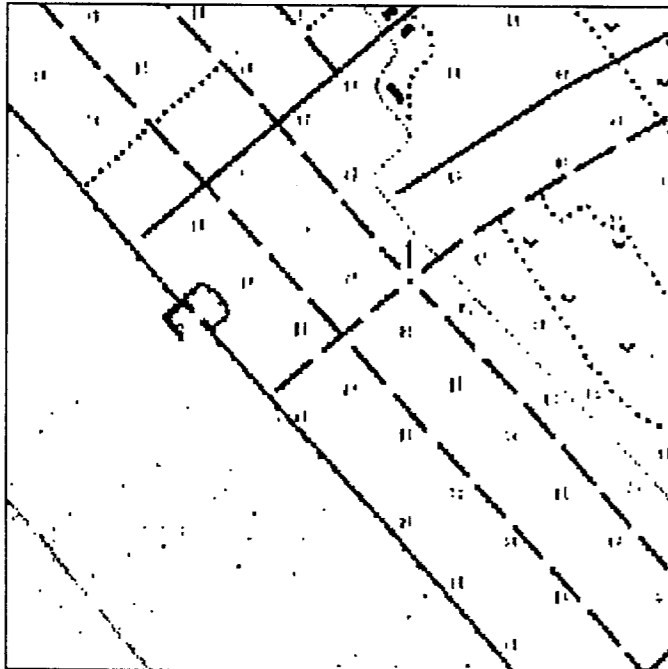
①大正 7 年



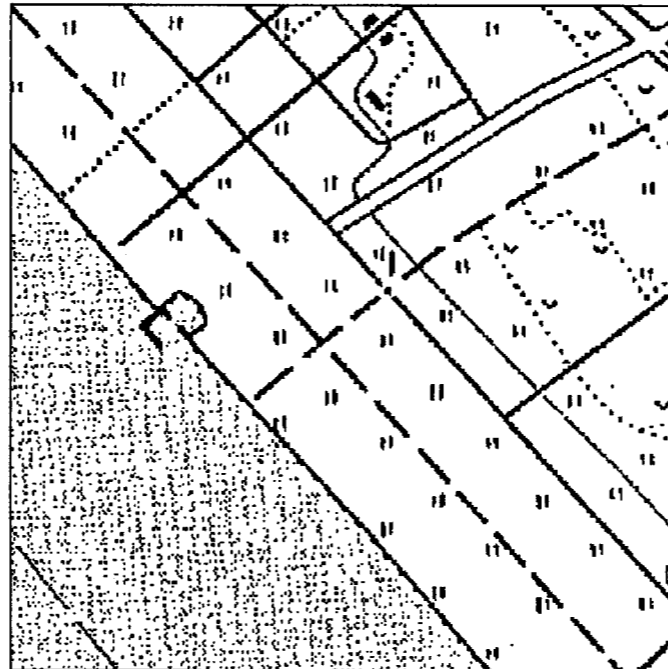
②昭和 52 年



③昭和 59 年



④平成 2 年



⑤平成 10 年

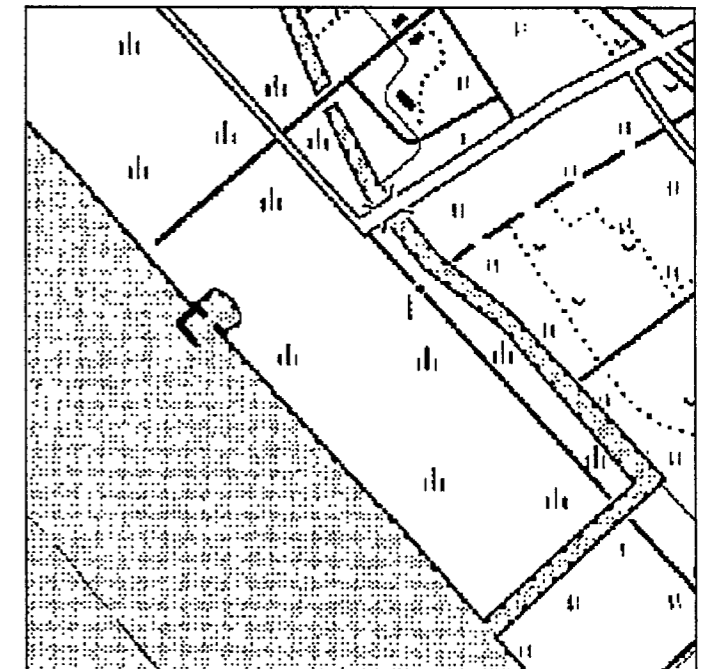
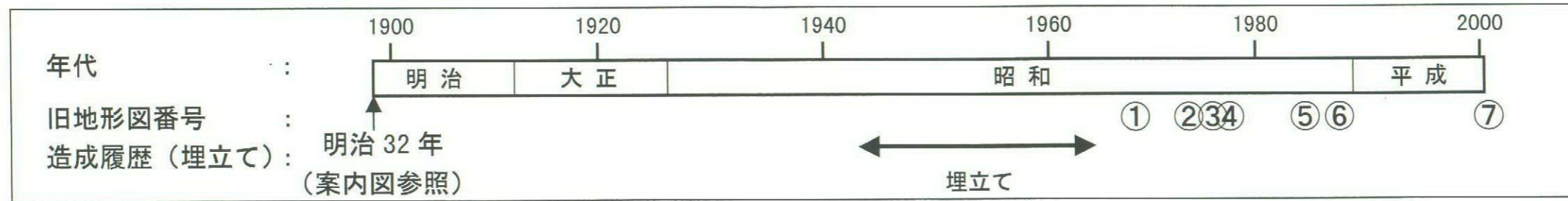
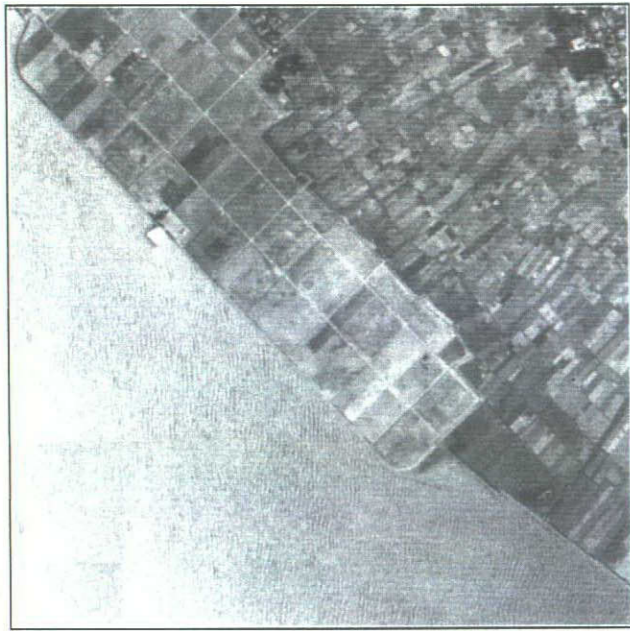


図 1-4. 1 地形図による変遷 (崎津団地)

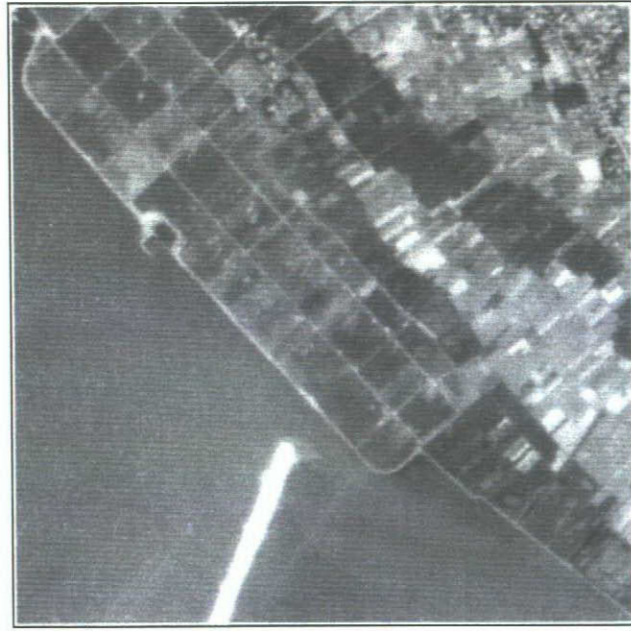


崎津団地

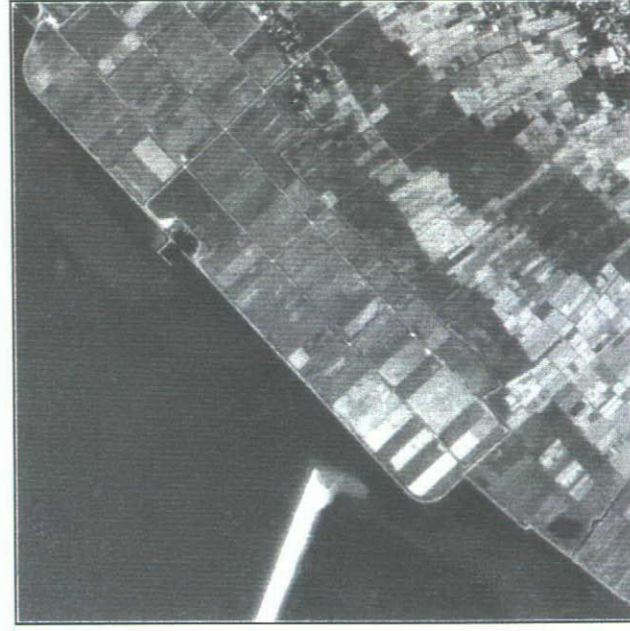
①昭和 42 年



②昭和 48 年



③昭和 50 年



④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後



図 1 - 4. 2 空中写真による変遷 (崎津団地)